

SHANTI



2022.11
Vol. 316
シャンティ

特集

ラオス 30年の あゆみ



巻
末
言

道



神戸での支援経験を源流に

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
浅野幸子

シャンティ国際ボランティア会との関わりは、1995年1月に起きた阪神・淡路大震災の時からでした。当時は学生でしたが、東京・浅草育ちで関東大震災について学ぶことも多く、被災地の様子が気になってボランティアに参加したいと、新聞で見かけた曹洞宗国際ボランティア会(当時名称。現シャンティ)の災害支援ボランティア募集に応募し、3月初旬に現地に入りました。

最初は、在宅で過ごされている方への支援情報提供、仮設住宅の支援、そして大半が全壊してしまった下町のある地区の復興まちづくり支援と、現地で4年間活動しました。

災害や紛争は、人々から多くのものを奪ってしまいます。生活の立て直しの中で、町の将来への不安を抱えるみなさんと一緒に、離散してしまった住民が集まる機会づくりも兼ね、慰霊祭、夏祭り、餅つきなどのイベントを行い、復興まちづくりの会合にも伴走させていただきました。

そこで感じたのは、被災地のみなさんの力で



1995年神戸市でボランティアの方との打ち合わせ

です。地域活動経験の蓄積、それらを通したつながり、仕事や家庭での経験によるスキルが生かされるよう、黒子に徹することを心掛けました。

なお、私は現在、国内でジェンダー・多様性の視点を入れた防災対策の推進、特に、地域コミュニティレベルでの取り組みを支援しています。その私の中の源流の一つが、神戸での支援経験です。ハード・ソフト両面の復興まちづくりで、女性たちが重要な役割を果たしているにもかかわらず、そこに焦点を当てた支援がなかったため、活動しやすい環境づくりの一環で、女性中心のグループの立ち上げをお手伝いしました。

しかし、ジェンダー視点を入れたコミュニティ支援は、開発援助領域のほうがずっと進んでいるようです。シャンティ国際ボランティア会は、国内外双方に草の根の活動・支援者のネットワークがあるので、その経験をより一層生かしていけたら素晴らしいと思います。

- 4 開催報告 講演会
ミャンマー (ビルマ) 危機
国民の不屈の戦いの先にあるもの
- 6 緊急レポート
ウクライナ危機
— 調査団報告 —
- 8 特集
LAOS「30年のあゆみ」
- 16 世界の絵本を読んでみよう
「りこうな子ヒツジ」
アフガニスタン 2009年
- 18 世界の麺 カンボジアの麺「ノムパンチョック」

- 19 世界の現場からAIRMAIL
▶ミャンマー (ビルマ) 難民キャンプ
▶カンボジア事務所 ▶ミャンマー事務所
- 26 特別特集
松岡享子さん追悼メッセージ
- 28 つくり手さんのぬくもり ヴィレッジワークス
- 29 絵本に込められた想い
『ちびゴリラのちびちび』
- 30 ファインダーをのぞいて「モルドバ プチ情報」
- 31 お知らせ
- 32 道 神戸での支援経験を源流に
減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
浅野幸子

50の民族が暮らし、国民の約7割が仏教徒であるラオスで、シャンティは1992年から活動を開始しました。教育の質の改善や図書館活動、文化の保護などに取り組み、この30年で教育環境が改善される中、都市部と農村部の教育格差は広がっています。

シャンティは2014年に北部のルアンパバーン県にフィールド事務所を開設し、公用語であるラオス語を母語としない少数民族の子どもたちへの支援や、農村部の学校の学習環境の改善などに取り組んでいます。特集では、これまでの活動のあゆみや実績、ラオスの教育環境の改善に向けて活動する職員の想いをお伝えします。



今号の表紙

ケンカパーオ・ヌア小学校への図書箱の寄贈 (2005年撮影)

©SetoMasao

『おおきなかぶ』再話: A・トルストイ

訳: 内田莉沙子 画: 佐藤忠良

福音館書店

『はらへこあおむし』作: エリック・カール

訳: もりひさし 偕成社



講演会

ミャンマー(ビルマ)危機 国民の不屈の戦いの先にあるもの

第1部

大局の中で NGOがとるべきこと

秦…現在のミャンマーは、ミャンマー国軍と国民統一政府（NUG）という2つの勢力が互いにけん制し合うような状況です。NUGは日本にも事務所を開設しましたが、国際的な支援などは限られているように感じます。NUGについてどのように見ていらっしゃいますか。

深沢…ミャンマーの民主化闘争は、これまでは非暴力主義でした。なぜ民主派が武力に走らざるを得なかったかという点、国際社会がきちんと対応してくれないことへの不満、失望があったと思います。

また、今の軍政が異質だという声もあります。軍が弾圧をし続けて国際社会の声も聞かず、交渉ができない集団である気がします。この先の展開は非常に難しく、時間がかかっていくと思います。

秦…ASEANの動きや役割はどの

日本は中国、インド、欧米、ASEANと連携し、対話相手は軍だけでなく民主化勢力も含め、国際社会とミャンマー側の間に入って調整するという役割を務めるべきですが、残念ながらそういう行動に至っていません。

秦…NGOとしてできることは限られています。ASEANと連携してしっかり発言し、ODAの在り方や国を超えた緊急人道支援にもっと積極的に関わる必要があると感じます。

シャンティとしては地道に活動を続けていくことが重要だと思います。教育は時間がかかりますが、平和の在り方を伝えていけるのではないのでしょうか。

深沢…おっしゃるとおりだと思います。少数民族地域の子どもたちは避難生活を強いられていますし、コロナ禍の影響もあり、ミャンマー全体で2年ほどの教育空白期間ができています。どこかで補わなければ、未来の国の活力にも影響します。各々のNGOが取り組まれているのは点

ように考えられていますか。

深沢…クーデター後はじめて10月に開催したASEAN首脳会議、そしてその後の外相会議でも、ASEAN側はマレーシア、インドネシア、シンガポールが強く反対したことから、軍の首脳を招待しませんでした。その頃からASEANがある程度毅然とした態度を取り始めたと思います。ASEAN各国がミャンマー問題を放置すれば、欧米などの国際社会からASEAN全体の信頼や信用が失われる恐れがあります。ASEAN各国はそうした事態を避けるため、ミャンマーにプレッシャーをかけていくのだと思います。

秦…日本の動きについてはいかがですか。

深沢…日本人の圧倒的多数はミャンマーの人々を助けるべきだと思っているはずですが、政府が行動を起こしていません。ミャンマー軍に対して毅然としたメッセージを出すべきだと感じます。

かもしれないですが、連携することによって面になり、大きな力になります。そこに日本政府が資金面や現地政府との交渉をサポートし、NGOとうまく連携が取れていければベストだと思います。

第2部

厳しい市民生活の中で 学びを絶やさないために

クーデターから1年がたつとも犠牲者の数は増え続けており、2022年3月25日現在で1707人も人が犠牲になったという数字があがっています。地方では戦闘が激化しており、国連の発表ではクーデター以前の避難民の数と合わせて90万人になったと言われています。社会的、経済的な課題が山積し、市民生活はますます厳しくなっています。

シャンティは2014年からミャンマーで活動を開始し、図書館事業を中心に絵本出版、学校建設などを

登壇者
プロフィール

秦 辰也

近畿大学国際学部教授、
シャンティ国際
ボランティア会常務理事



会社員を経て1984年から2008年までシャンティの専任スタッフとして活動。活動地での社会開発や人権等の問題にNGOの立場から関わる。SVAバンコク事務所長、アジア地域事務所長、事務局長、専務理事などを経て2008年より近畿大学に入職。現在に至る。

深沢 淳一

読売新聞 元アジア総局長、
神戸大学客員教授



1987年読売新聞入社。主に経済部で複数省庁を担当し、アジア経済特派員としてシンガポール支局、バンコク支局に駐在し、アジア総局長として東南アジアの政治経済、安全保障を統括。著書『「不完全国家」ミャンマーの真実〜民主化10年からクーデター後までの全記録』（文芸堂）

中原 亜紀

ミャンマー事務所 所長



1998年入職。タイ・バンコク事務所スラム地域開発事業を担当した後、ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所 所長、東京事務所海外事業課 課長、ミャンマー事務所 所長、ミャンマー国境支援事業事務所 所長を経て、2022年1月から現職。

実施してきました。新型コロナウイルスとクーデターの影響を受けながらも、昨年から一時中断していた紙芝居出版再開に向けて取り組みほか、新たに僧院学校の校舎建設と学校図書館建設の計画を進めています。また、図書館事業では、教員養成学校にて図書館研修を実施し、教員養成学校付属中学校の小学部に学校図書室を設置しました。

クーデター以降、軍が統制しているという理由で公立学校に通わない子どもたちが、僧院学校や私立学校に進学するケースが見られています。僧院学校は公立学校と同じカリキュラムを使用しているため、子どもたちも安心して通えるうえ、全て無償であるというメリットもあります。僧院学校の校長先生は、「クーデター以降、学校運営のための資金繰りが非常に大変になっているものの、子どもたちが学びを続けられるようできる限りの努力をしたい」と話していました。

（ミャンマー事務所所長 中原亜紀）



2021年2月にミャンマー国軍によるクーデターが起きてから1年以上がたちました。シャンティは、現地で活動する他団体と連携することで必要な支援を届けています。

講演会では、長年にわたりアジアの最前線で東南アジアの政治経済や安全保障を取材されている深沢淳一氏をお招きし、今回の国民の反軍活動は過去とどのような点が異なっているのか、国際社会の対応の在り方について考えました。また、第2部では、ミャンマー事務所 所長の中原が現地の状況を報告しました。（内容は2022年3月時点）

右:ポーランドで避難民の支援にあたっている方々への聞き取り調査の様子
下:避難している子どもが描いた絵



避難施設や現地のNGO、避難民を受け入れている家庭を訪問し、支援者と避難民からヒアリングを行いました。また、状況に応じて緊急の物資配布も行いました。

大規模避難所に避難している方は少なく、9割近くの避難民はポーランドの一般家庭にホームステイする形で滞在しています。国からも避難民1人の受け入れにつき、受け入れ家庭に対して約1200円が支給されていますが、それでも多くの部分を受け入れ家庭が負担しているということが言えます。各地で支援疲れの状況が確認されており、今後の課題となってくることを考えられます。

また、ウクライナから避難してきた方が、ポーランド国内で他のウクライナ避難民を支援している様子も伺えました。同朋の支援を行っている避難民がいることも特徴と言えます。

ポーランド

Poland



ウクライナ危機

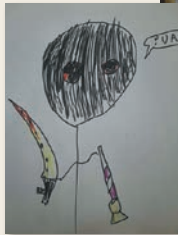
調査団報告

モルドバの首都・キシナウにある教会に避難する人々 ©Yoshifumi Kawabata

シャンティの今後の取り組み

ウクライナ国内およびポーランドなどの国外の避難民の方々への緊急人道支援を継続します。不足している食糧や生活物資の配布、避難民の子どもたちの学習環境を整えるための学用品の配布ほか、厳しい避難生活でストレスにさらされている避難民の方の心理的ケアにも取り組む予定です。

右:避難民センター
©Yoshifumi Kawabata
下:避難している子どもが描いた絵



現在10万人ほどがモルドバに滞在していますが、西側の国に移動したり、また、ウクライナへ戻る避難民の方々も多く、ポーランドと同様、避難民の動きが流動的で状況把握が難しいという特徴が挙げられます。モルドバを避難先に選ぶ理由として、家族や親せきがいること、さらにウクライナへすぐに行き来できる距離のため、避難しやすいということが挙げられていました。

また、モルドバでも多くの市民が各家庭で避難民の支援を行っているため、ボランティアやNGOが避難民の数や生活状況などを確認するのが困難な状況です。

モルドバ

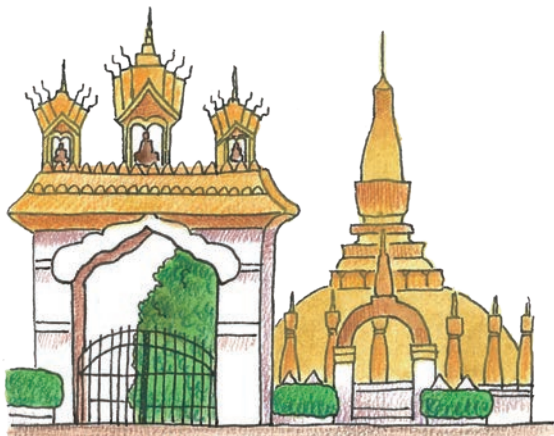
Moldova



ポーランドに避難してきた方々に食料や生活物資の配布を行った

シャンティは、2022年2月末から激化したウクライナにおける武力紛争により、ウクライナ国内外に多くの避難民の方々が逃れていることから、緊急人道支援事業を行うことを決定しました。第一次調査として、2022年4月21日から5月4日の間、理事・事務局長・職員からなる合計8名の調査団を隣国のポーランドとモルドバに派遣しました。

現在ウクライナは人口の3分の1に近い、約1千万人の方が支援を必要としている現状です。そこで、今回は支援の必要性を理解する目的で調査を実施し、現地などから得た一次的な情報に基づき、調査対象地域をこの両国に絞りました。



〔政治〕

人民革命党による一党指導体制。党大会は5年に1度開催され、5年ごとの政策方針を決定。国民議会は一院制で、総選挙は5年に1度実施され、通常会議は年2回開催。2021年1月の第11回党大会および同年3月の第9回国民議会で、トンルン・シースリット氏が国家主席兼党書記長に就任。首相はパンカム・ヴィパヴァン氏。



〔社会〕

政府認定の民族が50に及ぶ多民族国家。主要民族であるラオ族を含むラオ・タイ語族の人が約62%を占め、その他モン・クメール語族約25%、モン・ミエン語族約10%、シナ・チベット語族約3%。国民の約7割が農業に従事し、米やとうもろこし、野菜の栽培、家畜飼育などに従事。焼き畑を行い、自給自足に近い生活を送っている人も多数。

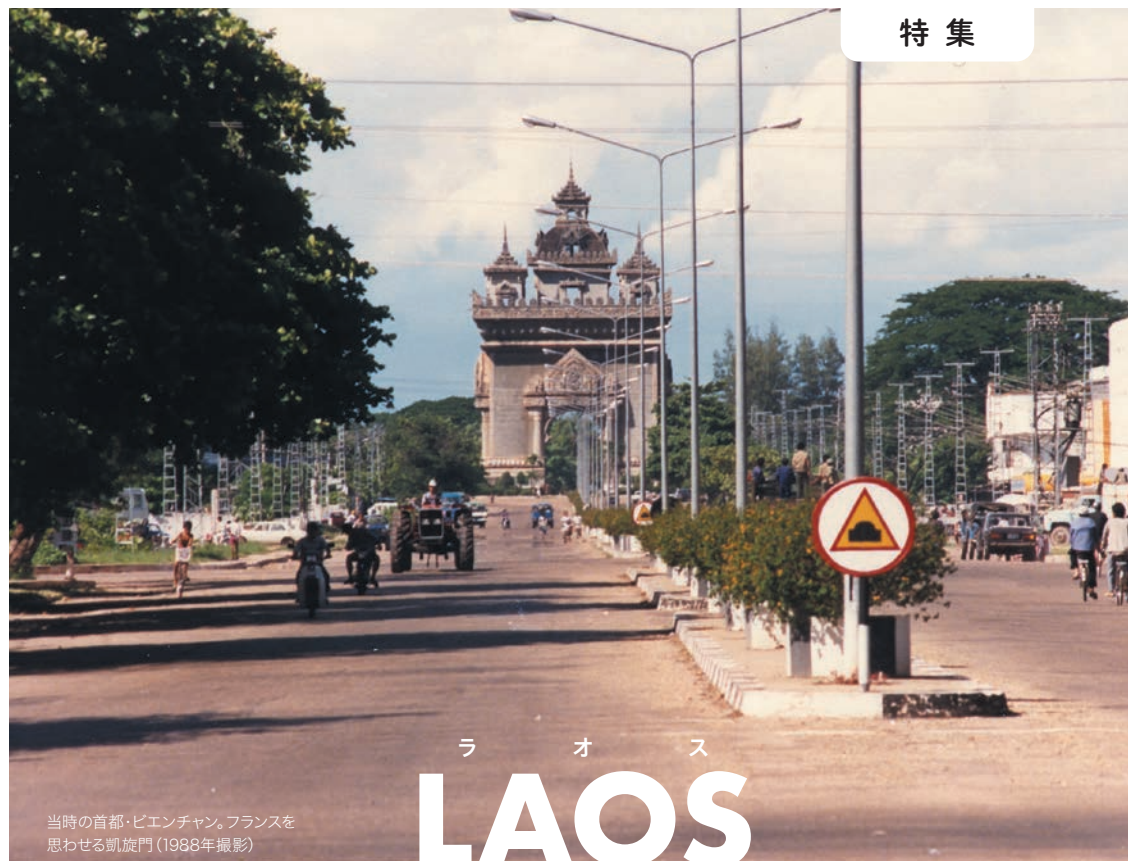
〔歴史〕

14世紀中ごろ、ラオ人最初の統一国家であるランサン王国がルアンパバーンを都として成立。その後、3王国に分裂し、18世紀にはタイによる支配、19世紀末にはフランスの植民地に。1953年にラオス王国として完全独立。しかし独立後、右派・中立派・左派に分かれた内戦が起こり、1975年に王政を廃止し、社会主義体制のラオス人民共和国が成立。

〔経済〕

2020年の一人あたりのGDPは2,630ドル(世界銀行)。2000年以降の経済成長率は毎年6～8%程度と好調であったが、2020年には新型コロナウイルスの影響で0.5%と急落、2021年には2.3%と回復の兆し。コロナ前の主要産業はサービス業(GDPの約42%)、工業(約32%)、農業(約15%)。

※出典 2019年 ラオス計画投資省



「30年のあゆみ」

／ ラオスってこんな国 ／

ラオスは日本の本州と同じくらいの場所に740万程度の人しか住んでおらず、人口密度の低い、山がちな国です。特に農村部では村々が点在しており、他の村から車で1時間近く離れ、ルアンパバーン市から同行している行政職員も驚くような場所に村があったりします。車道がなく、徒歩やボート、地元のトラクターのような乗り物で村まで行くことも。町から離れた村々では、各民族の伝統が色濃く残っており、家のづくりや食事、衣装、行事などが民族によって異なり、文化の多様性を感じながら活動を行っています。

シャンティがラオスで活動を開始してから、2022年で30年がたちました。公用語(ラオス語)が分からない少数民族の子どもたちの学びや、経済発展にもなっている農村部と都市部の格差など、さまざまな学習環境の課題を抱えるラオスで取り組んできたこれまでとこれからを特集します。



複式学級支援

特にラオス北部では、1人の教員が複数の学年を同時に指導する複式学級が主流です。教員の抱える課題の解決や児童の学習成果の発現を目指し、複式学級の運営改善を目的とした事業を開始しました。



適切で安全な学校建設

国内各地で学校校舎が不足し、設備の補修が必要でしたが、山岳地域が多くインフラも十分に整っていないラオスでは、政府の教育施策も行き届いておらず、適切で安全な学習環境を整備する必要がありました。

30年 の あゆみ

1992年にラオス事務所を開設してから、これまでに取り組んできた事業を写真とともに振り返ります。



ラオス事務所立ち上げ

最大4万5,000人の難民が暮らしていたバンビナイ難民キャンプ閉鎖に伴い、1992年4月にラオス事務所をビエンチャンに開設しました。

2014年

2003年

1993年

1992年



『どろんこハリー』福音館書店

公共図書館支援

ラオスでの読書推進活動を行ってきた結果、児童向けの絵本以外にも青年向けの図書や書籍の要望を受けるなどニーズが多様化。すべての人に開かれた公共図書館を実現すべく、公共図書館の建設と改修を行い、技術指導を含めた運営支援を開始しました。



「図書箱」の配布活動

当時は、首都・ビエンチャンに国立図書館があるのみで、公共図書館はおろか図書室のある小学校はほとんどありませんでした。子どもたちが絵本や児童書に触れられるよう、木箱を開けば移動式の図書コーナーになる「図書箱」を小学校へ配布する取り組みを開始しました。



教材開発事業に着手

当時のラオスでは、教育の質向上と児童への学習意欲触発のための教材開発が急務でした。教材作成に使用できる印刷機「謄写版」を製作するため、ラオス国内での部品探しを開始。謄写版が国内で製作可能になると、教員や教育関係者にその活用法を紹介するトレーニングも実施しました。



絵本出版のはじまり

フランスの植民地化や、20年にわたる内戦の混乱もあり、絵本や文学作品の出版がほとんど行われていなかったラオス。1992年、ユニセフや他援助団体と協力し、10タイトル、5万冊のラオス語絵本を出版したことをきっかけに絵本出版を開始しました。

活動を振り返って

1993年より8年間シャンティのラオス事務所職員として従事し、
現在も教育関係者として協力いただいている小野豪大^{たけひろ}さんと、2004年から2020年まで15年以上にわたり、
職員として広く事業に携わった経験を持つカムコンさんのお二人に聞きました。

少数民族の子どもたちの学びに寄り添って

活動を開始した頃、教室には児童があふれ、1つの机に6人の子どもが座るので、教える先生も子どもも全く集中できませんでした。学校には壁がなく、本は盗まれてしまうので、図書室も設置できず、先生は私たちが配る絵本を専用のボックスに入れて毎日自宅へ持ち帰っていました。さらにアクセスも課題で、車が入れない山岳地域ではポートが必要になります。メコン川でポートが浸水、川べりで一夜を過ごしたこともありました。

この30年でシャンティは、77棟の校舎と25校のトイレを建設しました。へき地の子どもたちは通学しやすくなり、学校に教材や絵本を置けるようになりました。今後は、少数民族

の子どもたちへの支援に力を注いでもらいたいです。少数民族の子どもたちはラオス語を読むことができないため、先生たちへのラオス語の教授法の研修は最優先です。また、フラッシュカード*の作成も大切です。農村部の少数民族の子どもたちのフォローアップを続けていってほしいです。

*フラッシュカード (補助教材として使用するラオス語の単語カード)

カムコン・クンチャムヌンさん

大学卒業後、他団体で農業支援に携わっていた際に農村部の教育状況を目の当たりにしたことをきっかけに教育支援の道を志す。2004年から2020年まで従事。



図書館の評価会議でカウンターパートに説明するカムコンさん

事業評価で小学生にインタビューする小野さん

「双方向の国際教育協力」の時代へ

90年代、ラオスの教育関係者が日本の教育文化が生んだ発明品を「トーサバン(謄写版)」、「カミシバヤ(紙芝居)」と固有名詞で呼んだことが今でも懐かしいです。また、最近の事業展開でも日本の複式学級の指導法について、彼らは「日本の教育経験」に魅力を感じて、ラオスの教育界に取り入れるべくシャンティと協働してくれました。

一方、そろそろ「ラオスの教育経験」を本格的に日本に紹介してみても、と思うのです。この30年間で、シャンティはラオスの教育課題のみならず、その独自の魅力も把握してきました。おそらく、それは謄写版や紙芝居というモノではなく、例えば「多民族国家で養われる共生のソーシャルスキ

ル」「へき地で磨かれる生きる力」など、現代日本人が必要な資質・能力のようなものかもしれません。

互いの教育経験に敬意を持って学び合う「双方向の国際教育協力」。これは新しい時代のラオス事業への提案ですが、同時にシャンティが「日本の教育をどう見るか」という問いでもあるのです。

小野 豪大^{たけひろ}さん

ラオス、東京、タイ・ミャンマー国境を拠点に20年間ほどシャンティの事業に従事。現職は北海道教育大学釧路校講師(へき地・小規模校教育研究センター員)。日本国際ボランティアセンター(JVC)の理事も務める。



これまでのシャンティの実績

教育の質を改善するためにさまざまな事業に取り組んできました。

具体的な数字を通して、

それぞれの事業が必要とされた背景と支援実績を紹介します。

出版した
絵本・紙芝居



76タイトル

配布した謄写版



8,120台

配布した図書箱



1,974箱

研修に参加した人



1,992人

移動図書館活動に参加した人



371,245人

建設した学校



74校

支援した図書館



100館

これまでに絵本69タイトルと紙芝居7タイトルを出版しました。中には、少数民族の民話を題材にしたものもあります。印刷した絵本は、事業地のほか、国立図書館、全国の公共図書館、小学校、子ども文化センターにも配布しています。



電気不要で、価格が安く、使い方が簡単な印刷機である「謄写版」を製作。2020年までにラオス全土の小学校8,120校に各1台の謄写版を配布しました。当時のラオスにおいて、学校での教材開発のみならず、文集など児童たちが自ら表現する手段として活用されていました。

図書室のない地方15県の1,207の小学校へ1,974箱の図書箱を配布しました。また教員に対して、図書の管理方法や読み聞かせの方法を含んだ研修会も実施し、学校での読書推進を後押ししました。



謄写版の活用方法や、学校や公共図書館における図書の管理活用方法、公教育における就学前学級や複式学級の指導向上に関してなどの研修会を実施してきました。これらの参加者数は1,992人に上ります。

特に農村部の学校を対象に、移動図書館活動を実施し、これまでに37万1,245人が参加しています。移動図書館活動では、絵本や紙芝居の読み聞かせを行うほか、歌、折り紙、レクリエーションゲームを取り入れるなど、子どもたちが楽しみながら学べる機会を提供しています。



これまでに6県で、74の学校校舎を建設してきました。小学校の校舎建設を通して子どもたちに安全な学び舎と就学の機会を提供してきました。



公共図書館、学校図書館あわせて100館の支援を行いました。図書館の建設、改修支援のみならず、図書館員や学校教員への図書館・図書室運営に関する研修会の実施、また蔵書の提供などを行ってきました。



ラオス人職員が主体になって より良い教育を子どもたちに届ける

ラオスでは、シャンティが活動を開始してから新型コロナウイルスの感染拡大までの約30年間で、年平均GDP成長率が7%に迫る勢いで経済発展しました。近年ではラオス・中国間を走る鉄道や高速道路が開通し、国内移動も便利になっています。この間、教育分野でも大きな改善が見られ、小学校の純就学率は56・8%（1992年）から98・5%（2020年）、修了率は27%（1990年）から79・8%（2020年）と大きく上昇しました。しかし、実際には児童の出席率は悪く、授業を理解していなくても進級できる傾向にあるため、この数値はあまりあてになりません。2019年にユニセフが実施した学力調査では、5年生の児童のうち読解力が習熟レベルにあると判断され

たのはわずか2%、50%は小学1年生に相当するレベルという結果で、教育の質の向上に大きな課題があるとわかりました。さらに格差も大きく、2017年の世界銀行による小学4年生を対象としたラオス語の学力テストでは、都市部児童の平均が65・3点なのに対し、農村部では52・9点、また民族別ではラオ・タイ語族72・5点、モン・クメール語族48・1点、モン・ミエン語族28・7点、シナ・チベット語族33・0点と、顕著な差が出ています。

ラオスの農村部では、このように公用語で話す先生の言葉を理解できない少数民族の児童が多いこと、また教員数が少なく小規模校が多いために1クラスに2学年以上の児童が一緒に学習する複式学級が多いにもかかわらず、教員がその教授法を身に付けておらず、効果的な授業が行われていないことが深刻な問題となつています。



ラオス事務所は、2022年8月にラオスの伝統文化の保存と継承に貢献した実績が評価され、ラオス政府より友好勲章を授与され、情報文化観光省の副大臣からメダルをいただきました。式典には情報文化観光省の副大臣をはじめ、同省職員や関係者など約30名が出席しました。



玉利清隆

ラオス事務所 所長。民間企業勤務を経て、英国で開発学の修士取得。青年海外協力隊、国連、他NGO、JICAの業務で、アジア、アフリカ、中東など、さまざまな国で勤務。2014年シャンティ入職、2018年5月から2022年8月までラオス滞在。

※役職は2022年8月時点

カウンターパートの 理解と協力が不可欠

他の業務を抱えるカウンターパートと予定が合わなかったり、新型コロナウイルスの影響で打ち合わせができなかったりして、大変な時期もありました。何度も参加をお願いし、プロジェクトを進めました。現在は、複式学級で教える教員の能力があがり、子どもたちの学習成果にも表れるようになり、教育スポーツ省や教員養成学校など教育セクターのカウンターパートから多くの感謝の言葉をもらえるようになり、良い関係を築いています。

しかし、ラオス政府による教育分野への取り組みや財政面はとても厳しく、まだまだ支援が必要だと感じます。ラオスの教育の向上のために働けることは私の大きな誇りです。



ブンホンさん

ラオス事務所
プロジェクトスタッフ

ルアンパバーン国立博物館でボランティアスタッフとして勤務した後、2017年シャンティ入職。

へき地の子どもたちにも 絵本を届けたい

本を読む機会が不足すると、農村部の少数民族の子どもたちは、母語ではない公用語のラオス語を読んだり、話したりすることが少なくなってしまう。ラオス語が分からないと、小学校を終えたあとと学び続けることが難しくなり、家族の農作業を手伝うようになる子どもたちを多く見えました。都市部から遠く離れた場所の子どもたちにも、移動図書館を通して、さまざまな絵本に触れる機会をつくってあげたいです。

子どもたちは移動図書館が大好きです。先生や保護者など大人たちに教育の重要性を理解してもらい、へき地の子どもたちが十分な教育を受けられるようになることが私の願いです。



ポンサワンさん
（通称タイさん）

ラオス事務所
プロジェクトスタッフ

他NGOの運営する学校で教員として勤務した後、プロジェクトスタッフとして2020年シャンティ入職。

これまでとこれから 職員が今思うこと

国内の格差をなくすことを目指して

ある学校は小さく、床は土、屋根には穴がいくつも空いていて雨の日は学べませんでした。ひとりの先生が5つの学年を教えていて、教材もない、絵本も遊び場もない、トイレもない。働き始めたころはそんな状態でした。

学校が新しくなったことで、子どもたちは学校が好きになり、村人は学校へ行くことを勧めるようになりました。「あなたたちは教育のために、こんな遠い村まで来てくれた最初のNGOです。シャンティとその支援者に感謝の気持ちでいっぱいです」と言ってもらえました。今も多くの農村部は都市部と大きな教育格差があります。幼稚園や小学校の教育環境を良くしていく必要があります。



チャントウマさん
（通称ノイさん）

ラオス事務所
総務経理調整員

外資系の医薬品メーカーでの勤務を経て、2007年シャンティ入職。

りこるな子ヒツジ

ある日、羊飼いは野原にヒツジの群れを連れて行きました。すると突然、妊娠中のヒツジは苦しみはじめ、かわいらしい子ヒツジが生まれました。

しかし、お母さんヒツジは、子ヒツジを産むと死んでしまい、羊飼いはそれに気づかず、群れとともに去ってしまいました。



1

しばらくすると、死んだお母さんヒツジと子ヒツジのところに、灰色のオオカミが来て、ヒツジたちを食べようとしました。そこへ若い獵師が現れ、銃を撃つと、オオカミは逃げていきました。

2



3

獵師は家に帰り、奥さんに何があったかを話して、お母さんヒツジを亡くした子ヒツジの面倒をよく見るように頼みました。



5

「あなたたちとあのオオカミでは、どこが違うでしょう。私が小さいとき、あなたは私を救ってくれました。でも今は、私を殺そうとしています。あなたはオオカミと同じです!」。ヒツジは涙を流しながら言いました。

4



1年たつと、子ヒツジは大きくなりました。獵師と奥さんは、子ヒツジを眺めてはとても喜び、「子ヒツジは十分大きくなった。冬に殺して食べるのにちょうどいい」と言つて、子ヒツジを殺そうとしました。

すると、子ヒツジは獵師に、「話を聞いてほしい」とお願いしました。



6



これを聞いた獵師は、自分の行いを悔い、子ヒツジを殺すのをやめました。

こうして子ヒツジは、他のヒツジたちと一緒に暮らしていきました。

世界の現場から

AIRMAIL

To 日本の皆さん From 活動の現場

このページでは、アジアの各国で活動するシャンティの様子や職員を紹介します。



From BRC

『さととわに』 作:ポール・ガルドン 訳:北村順治(ほるぷ出版)

From BRC

ミャンマー(ビルマ) 難民キャンプ

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、難民キャンプでは図書館活動の再開や対面での会議など、徐々に日常を取り戻しています。しかし、難民の帰還プログラムの停止や物価高騰など、さまざまな課題も残されています。



From Cambodia

From Cambodia

カンボジア事務所

カンボジアでは経済発展が進む一方、都市部と農村部の経済や教育の格差が広がっています。コロナ禍で活動が制限される中、職員一丸となってさまざまな工夫を取り入れながら、支援活動を継続しています。



From Myanmar

From Myanmar

ミャンマー事務所

軍事クーデターやコロナ禍が事業継続に大きな影響を及ぼす中、子どもたちの学びの機会を守るために活動するミャンマー事務所の今をお伝えします。



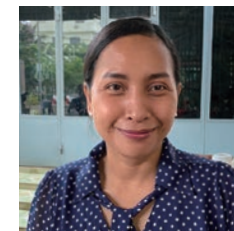
世界の麺

シャンティの活動地にはユニークな麺料理がたくさんあります。お年寄りから子どもたちまで年齢や世代を問わず愛される麺料理を、シャンティの職員がご紹介します。

カンボジアの麺

【ノムバンチョック】

នំប៉័ត់



カンボジア・バタンバン事務所
レン・バリカさん

経理総務スタッフとして働いています。

古くから親しまれているカンボジア伝統の一品
ノムバンチョックは、ハーブやニンニクの香りがおいしさをそえる料理です。私はよく朝食に食べます。
スープのつくり方は、沸騰したお湯に魚を入れて、チキンスープや魚醤、砂糖を加えます。魚は煮えたら取り出して骨を取り除きます。残ったスープに、レモングラスの葉やフィンガールート(シヨウガ科の植物)、ニンニク、ターメリックなどを混ぜたレモングラス・ペーストと、プラホック(魚を発酵させた調味料)を少し加えます。骨取りをした魚をスープに戻して完成です。
お皿に青パイヤ、ニンジン、カンボジアヌードル(米粉を水に漬け発酵させ、成形して作る麺)を入れ、スープを注ぎます。そこに野菜の葉とスイトバジル、どくだみ、唐辛子などのハーブを混ぜて食べます。タイ風はコナツミルクを入れますが、クメール風は入れません。
お店にもありますが、4000リエル(1ドル)くらいで食べられます。



ノムバンチョックが食べられるお店。
カゴに盛られた野菜やハーブをたっぷり入れて食べます

Hot Topics

1. 難民キャンプ委員会の選挙を実施

3年に1度実施している、難民キャンプの運営委員を決める選挙が、今年はコロナの影響で開催が危ぶまれていましたが、少しの遅れで実施ができました。

2. 難民キャンプの学校が再開

難民キャンプとその周辺で新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたため、キャンプ内の学校は6月か

ら新学期が始まりました。感染対策を徹底し、万が一陽性者が出た場合には、その学校は最低2週間休校になります。長く学校が閉まっていたため、学校の教材や備品は壊れたり紛失しているものもありました。

3. 難民キャンプの未来

新型コロナウイルスとミャンマーでの軍事クーデターにより、難民の帰還プログラムは停止しています。難民キャンプの住人たちは将来の不安に直面し、故郷に戻ることはもちろん、帰還先での新しい生活にさえも希望を持てずにいます。

4. 物価高騰の影響

難民キャンプでは、人々はフードカードを通して食料の配給を受けています。しかし、食料品、特にお米や油、生鮮食品の価格が上がっており、厳しい暮らしに直面しています。また、住民たちはキャンプ内で働くことを認められていないため、収入を生み出せずにいます。

ミャンマー(ビルマ)難民事業事務所
図書館アシスタントコーディネーター
プラウィット・キットワラシ

PROFILE

エイドワーカーとして働く中で友人からシャンティのことを聞き、その後2003年8月にミャンマー(ビルマ)難民事業事務所に入職。「自分が身を捧げて勤勉でいれば、やがて物事は成功する」という強い志を持ち、日々の業務に従事している。

形劇などさまざまなレクリエーション活動を実施できるようになりました。

図書館活動の効果は、どのようにに図書館員が関わり活動をしていくにかかっていると思います。コロナ禍においても、図書館員たちがマネジメントや日々の活動により責任を持てるように働きかけています。



『さるとわに』 作:ポール・ガルドン 訳:北村順治(ほるぶ出版)

2006年から図書館ユースボランティアを各キャンプに立ち上げました。研修などを実施し、今ではボランティアメンバーが、絵本の読み聞かせや紙芝居、人

図書館活動を支える図書館員をサポートしていきたい

新型コロナウイルスの影響は今もなお続いています。2022年5月から落ち着いてきています。県をまたいだ活動や、メラウキャンプとメラマルアンキャンプでの活動などを再開したいと考えています。この2キャンプはかなり離れた地域にあり、インターネット接続や電話回線がない状態でしたが、コロナ禍の間に整備しました。これにより、スタッフたちとより円滑にコミュニケーションしながら働けるようになりました。

図書館員は、現地の写真やレポートを頻繁に送ってくれます。

From BRC

ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ

コロナ禍でもより良い活動を実施していくため、図書館の利用環境の整備や図書館員、ユースボランティアへの研修などに取り組んでいます。

へき地でもネット整備により
コミュニケーションが円滑に

新型コロナウイルスの影響は今

もなお続いています。2022年5月から落ち着いてきています。

県をまたいだ活動や、メラウキャンプとメラマルアンキャンプでの

活動などを再開したいと考えています。この2キャンプはかなり離

れた地域にあり、インターネット接続や電話回線がない状態でした。

が、コロナ禍の間に整備しました。これにより、スタッフたちと

より円滑にコミュニケーションしながら働けるようになりました。

図書館員は、現地の写真やレポートを頻繁に送ってくれます。

図書館活動を支える図書館員をサポートしていきたい

2006年から図書館ユース

ボランティアを各キャンプに立ち上げました。研修などを実施し、

今ではボランティアメンバーが、絵本の読み聞かせや紙芝居、人

形劇などさまざまなレクリエーション活動を実施できるようになりました。

図書館活動の効果は、どのようにに図書館員が関わり活動をしていくにかかっていると思いま

す。コロナ禍においても、図書館員たちがマネジメントや日々の活

動により責任を持てるように働きかけています。

Hot Topics

1. コロナ禍における工夫

コロナ禍でも多くの活動をオンラインに切り替えるなどして活動を継続しています。コロナ禍を契機に、働き方や支援の仕方を変えたり、私が担当する会計業務でも、オンラインでの国内送金をできるようにするなど工夫をしています。

2. 物価の上昇

ガソリン価格の上昇など物価上昇が気になっています。最近では食料品の価格も上がっているため、家計のやりくりを工夫しています。本当に必要なものかどうかを見極めて無駄な買い物をしないようにしています。特に肉類が高いので、魚料理を以前よりも頻繁に作るようになりました。

3. 平和に対する想い

昨今のロシアによるウクライナへの軍事侵攻のニュースを見て、戦争の残酷な現実を見ました。戦争はすべてを破壊してしまいます。誰も戦争を望んでいないはずですが、私も内戦時代に家族がバラバラになるなど壊れてしまった経験があるので、ウクライナの人々の気持ちが分かります。戦争に良いことは一つもないのに、指導者が戦争をしてしまう現実は悲しいです。人々は平和に生きたいと思っているはずですが、



『りんごがひとつ』童心社／『あなたのいえ わたしのいえ』福音館書店／『ハンダのびっくりプレゼント』光村教育図書／『まちのねずみといなかのねずみ』金の星社
『ひとりじめ』成文出版社／『きょうりゅうたちのおやすみなさい』小峰書店／『ゴーゴーゴール!』フレーベル館



カンボジア・ブノンベン事務所
経理／アシスタント
コーディネーター
ポウ・ソリダ

PROFILE

大学で会計学を専攻。NGOのアカウンタビリティーの高さや人権を尊重する姿勢に共感し、大学卒業後1998年にカンボジア事務所の会計担当としてシャンティに入職。

ありませんが、子どもの教育を良くするには親の理解が欠かせないと考えており、コミュニティ図書館活動や成人教育に関心があります。

以前にへき地やスラムでの移動図書館活動に同行した際、うれしそうに本を読む子どもの姿が心に残りました。モノは簡単に壊れてしまふけど、知識は壊れません。生活の向上や道徳を身に付ける上でも知識は重要だと思います。

私が担当する会計業務は、直接現場での活動に関わることは教育の大切さをより多くの人に知ってほしい

一方、シャンティの活動地域である農村部では、学校数や教員の質、子どもたちの学習環境など、都市部との格差が広がっています。息の長い支援が必要な教育開発分野では、NGOの役割は依然として高いと感じます。

息の長い支援が求められる教育開発分野でNGOが果たす役割

カンボジア事務所ではこれまでに、文化事業やスラムでのコミュニティ図書館事業、コメ銀行など、さまざまな取り組みを実施してきました。現在はフォーマル教育（公教育）事業とノンフォーマル教育（学校外教育）事業を実施しています。以前より活動の幅が狭く対象地域も絞られています。これはカンボジアが発展している証しだと思います。

国の発展とともに支援のニーズも変化しているカンボジアで、シャンティはすべての人に教育の機会を届けるため、都市部との教育格差が広がる農村部で活動を実施しています。

Hot Topics

1. 寺院学校の教育環境改善に向けた取り組み

西バゴー地域やカレン州などで、寺院学校の生徒への学習教材と教員への指導補助教材の配布事業を検討しています。新型コロナウイルスと軍事クーデターの影響で、寺院学校の多くが寄付金の減額や物価高騰、学校備品の値上がりなどに直面し、学校運営は非常に厳しくなっています。シャンティは学習教材の配布とともに、併設する孤児院への食料支援も検討しています。

2. ミャンマーの現状

ミャンマーのコロナの状況は落ち着いてきており、学校は6月から再開されました。活動面では、クーデター以降、個人の銀行口座からの引き出しが制限されているため、建設にかかる費用の支払いが心配されます。また、インフレによる物価高騰で多くの企業がミャンマーから撤退し、職を失う人が増えています。ミャンマー人の、特に若い世代が日本や東南アジアの近隣国などへ出ていくという動きもみられます。

3. 学校図書館研修の受講者の声

教員養成学校の教員向けに実施した研修では、その後教員らが自主的に生徒向けに同様の研修を実施しました。教員たちは、「研修に参加した生徒たちが将来教員になったとき、今回得た知識をさらにひろめていくことができます。また機会があればシャンティのトレーニングを受けたい」と話してくれました。



今後、子どもたちのために多くの活動ができるようになることを願っています。また、今年から教育カリキュラムが変更になりましたが、学校校舎や教室数など学習環境の整備は十分とはいえません。私たちは、ミャンマー全土の子どもたちが安心して学べる場と読書の機会を提供することに今後も貢献していきたいと考えています。

ミャンマー・ピー事務所
教育事業スタッフ
テ・ミヤ・ティイー

PROFILE

大学在学中にボランティア活動に興味を持ち、学内のさまざまな活動に参加。卒業後、シャンティ・ミャンマー事務所の学校図書館プロジェクトの職員として入職。好きな言葉は「Nothing is impossible」（不可能なことなどない）

From Myanmar

ミャンマー事務所

ミャンマーで現在実施している寺院学校の校舎整備や図書館建設、教員研修など、子どもたちの学習環境改善への取り組みをご紹介します。



現地のニーズに沿った支援で、教育課題の改善に取り組む

現在、西バゴー地域にある寺院学校の校舎と図書館建設を支援しています。この学校では生徒数の増加による校舎の不足や、教室ごとに仕切りがなく授業に集中できないといった問題があり、学校のニーズに合わせた建設支援を行っています。

また、教員養成学校の教員を対象に学校図書館研修を実施し、教員たちの図書館の知識を高めることにつながりました。参加者の研修内容への関心はとも高く、積極的に取り組んでいました。研修後は参加者に学校図書館マニュアルと指導者用マニュアルを配布し、さらに定期的なモニタリングと、継続的に活動を行ってもらうための指導も実施しました。

すべての子どもに安全な学習環境と読書の機会を届けたい

松岡享子さん 追悼メッセージ

児童文学者として200作を超える児童書を手掛け、東京子ども図書館を創設するなど、国内外の図書館活動に大きな功績をのこされた松岡享子さんが、2022年1月25日、86歳で逝去されました。

子どもたちに「おはなし」を

シャンティはこれまでに「絵本を届ける運動」を通じて、松岡享子さんの訳書である『しろいうさぎとくろいうさぎ』や『くまのコールテンくん』『まんげつのよるまでまちなさい』など、それぞれ5言語に翻訳した絵本4396冊をアジアの子どもたちに届けてきました。松岡さんは日本のみならず世界中の子どもたちに向けて本の普及に長年取り組まれ、シャンティの「絵本を届ける運動」や、アフガ

ニスタンでの図書館事業にご協力いただいたほか、アフガニスタン人職員を東京子ども図書館の研修に受け入れていただいたこともあり、現地状況を丁寧聞いてくださり、子どもたちにとって本や図書館がどのような意味を持つのか、一緒に考え、「難民キャンプの閉塞感から子どもたちが脱するためには、一人ひとりが心の中から自由になることが必要」という言葉をいただいたこともあり、東京子ども図書館にお伺いするいつも「こういつた本はどうかしら」と、一冊取り出して本の意味を説明してくださる松岡さんの姿勢から、子どもたちに本がどう寄り添えるのかを考えることを教わりました。「本は子どもに必要な魂の栄養」であると信じ、「図書館は文化の伝承と創造の場」とおっしゃっていた松岡さんの想いを引き継ぎ、これからも本が子どもたちにもたらす力を届け続けたいと思います。シャンティ一同、心からご冥福をお祈りいたします。

現地からの声

子どもたちだけでなく、読み聞かせをしている図書館員や先生たちにも、絵本は長年、親しまれています。



ヘ・ゲイ・ムーくん
(小学生・11歳)

この絵本のアライグマは、好奇心旺盛な男の子で、お母さんに「なぜ?」と疑問に思ったことを聞くので、ほくもさまざまな種類の動物を知ることができました。



ノウ・マンデイ・ムーさん
(図書館員・24歳)

これらの絵本を読み聞かせしていると、読むことができない子どもたちも、想像力を働かせながら、熱心にストーリーを追っていることが伝わってきます。



ヘ・クー・トゥーさん
(小学生・11歳)

ティディベアのコールテンと女の子リサから素敵な友だちになる方法を学びました。二人はお互いに大好きなので、わたしも幸せな気持ちになります。



写真提供: (公財) 東京子ども図書館

松岡享子さんのプロフィール

1935年、神戸市生まれ。大学卒業後に渡米。大学院で児童図書館学を学んだ後、ボルチモア市立公共図書館で児童図書館員として働きはじめました。帰国後、大阪市立図書館をへて、自宅で家庭文庫をひらき、児童文学の研究、翻訳、創作に従事。1974年に財団法人東京子ども図書館を設立し、子どもの本の普及活動に尽力しました。文化功労者。著書に『おふろだいすき』(福音館書店)、訳書に『しろいうさぎとくろいうさぎ』(福音館書店)『くまのコールテンくん』(偕成社)など多数。

届けた代表的な絵本



『くまのコールテンくん』
作: ドン・フリーマン
偕成社



『しろいうさぎとくろいうさぎ』
作: ガース・ウィリアムズ
福音館書店



『まんげつのよるまでまちなさい』
作: マーガレット・ワイス・ブラウン
絵: ガース・ウィリアムズ
ペンギン社

アジアの子どもたちに届けられた松岡享子さんの絵本

	くまの コールテンくん	しろいうさぎと くろいうさぎ	まんげつのよるまで まちなさい
ミャンマー (ビルマ) 難民キャンプ	2	0	184
アフガニスタン	0	0	716
カンボジア	24	1,760	872
ラオス	0	716	122
合計	26	2,476	1,894
総合計	4,396 冊		

松岡享子さんから シャンティへのメッセージ

国際協力として子どもたちに本を届けることに対して、松岡さんは生前、ご自身の経験をもとにコメントを寄せてくださいました。

言葉というものが生きていく上でどういうものであるとか、物語というものが、その人の生活をいかに支えたり変えたりしていくか、ということを経験しながら見せてくれる場所にシャンティの皆さんはいらつやる。

絵本の読み聞かせをする時、アジアの子どもたちがあんなに大勢集まって来て、あんなに一生懸命聞いて、あんなに一生懸命喜んでくれる。

物語には本来そういう潜在力があるという事です。よね、あまりにも当たり前になつていくと、私たちは享受しているものをちつともありがたく思えなくなつてしまします。私たちが振り返るチャンスになるので、そういう体験を持ち帰って伝えていただきたいと思います。

※2006年4月号『SHANTI』より抜粋
松岡享子

子どもたちの年齢や文化的背景に応じて必要な絵本は異なり、児童書の書店員、図書館員、出版社から、おすそめを教えてください。それぞれの絵本に込められた想いを紹介します。



絵本に込められた想い 絵本を届ける運動

みんな いつまでも
あなたがだいすき

森で生まれたその日から、お父さん・お母さんはもちろん、緑のおうむにも、赤いさるにも、ライオンのおじさんにだって愛されていた、ちびゴリラのちびちび。まわりのみんなに愛され、どんどん大きくなったちびちびは、あつという間にとても大きくなったけれど、みんなは今でもちびちびのことが大好きです。

シンプルな文章と力強い絵で描かれたこの絵本が伝えたいことは、「小さなときも、大きくなっても、いつまでも変わらぬあなたのことが大好き」。きっとそれは、可愛らしい子どもだから愛しているのではなくて、ただ「あなただから」大好き、ということなのでしょう。

1978年に日本語版が刊行され、愛され続けて100刷を超えた本書。お子さんに読んであげるときは、「ちびちび」をお子さんの名前に置き換えて読んであげてください。



出版社紹介：
木村美津穂さん
株式会社ほるぶ出版

創業は昭和44年。絵本、読み物など、主に子ども向けの書籍を刊行している出版社です。社名の由来は「Home Library Promotion」の頭文字をとりました。



『ちびゴリラのちびちび』

作：ルース・ポーンスタイン
訳：いわた みみ
出版社：ほるぶ出版

言語・テーマ

動物の絵本は子どもたちに大人気です。ジャングルに住む動物たちの愛あふれる素敵な絵本を、2023年度はミャンマーとミャンマー(ビルマ)難民キャンプの子どもたちに届けます。



参加のお申し込みはこちらから



クラフトエイドはアジア各国で民族独自の伝統や技術を生かした商品づくりに取り組んできました。このページでは民族の手仕事とスタッフおすすめの商品を紹介します。

つくり手さんのぬくもり

CRAFT AID



©Hirofuka Hashimoto

【つくり手さんの紹介】

カンボジア生産者団体

ヴィレッジワークス

スタッフの
おすすめ商品

カンボジアのフレコンバッグ

バッグの底面と内側はいらなくなったセメント袋を再利用し、持ち手部分も不要になったゴム素材を使っているアップサイクルバッグ。取り外しのできるふわふわのポンポンが付いています。セメント袋なので、耐久性も抜群です。

新商品やお買い得情報も更新中。クラフトエイド・オンラインストアはこちらから。



カンボジアのプノンペン市内に事務所と工房を構える、カンボジアの生産者団体ヴィレッジワークス。ここで働いているのは、プノンペンに住んでいる障がいを持った人たちです。ヴィレッジワークスは、社会的弱者や社会から疎外されてしまった人たちを、雇用を通して支援するフェアトレード団体です。プノンペンの他に、農村地域の女性たちの生活向上を目指すコンポントムとバンテイミンチエイもあわせて、3つの拠点で55人のつくり手が働いています。ものづくりというスキルを提供し、潜在能力を十分に引き出すことで、持続可能な社会の実現を目指しています。また、つくり手にとって、日本から商品の注文が入ることが、大きな希望と自信につながっています。

シャンティからのお知らせ

シャンティの日オンラインイベントのご案内 「タイ格差社会の今とNGOの役割について」

ドゥアン・プラティープ財団創設者のプラティープ・ウン
ソナム・秦先生をお招きし、オンラインイベントを開催
します。

日 時: 12月10日(土) 15時~17時
プログラム: プラティープ・ウンソナム・秦先生講演会、
トークセッション他

2023年度 定時社員総会・イベントのお知らせ

2023年度総会を下記の通り開催いたします。総会で議
決権のある社員会員のみなさまには、3月初旬に資料を
お送りします。総会後にイベントを予定しています。

日 時: 2023年3月28日(火)

合併についてのお知らせ

シャンティは2022年9月1日をもって、国内で長年伝統
文化の継承や、戦後の戦争被災児や子どものための支
援活動を行ってきた公益財団法人全日本仏教尼僧法団
と合併いたしました。なお、当会の所在地、代表者・役
職、事業内容に変更はありません。

遺贈寄付を受け付けています

遺贈とは、ご自身が遺される財産や、相続された財産
の一部を「未来を担う子どもたち」のために託していた
だくご寄付です。

「遺言」によってご自身が遺される場合だけでなく、ご
遺族が故人の遺志を受けて相続財産を役立てたいとお
申し出いただくご寄付や、お香典・お花料からのご寄付
など、「遺贈」にはさまざまなかたちがございます。
シャンティでは、遺贈・相続寄付に関するパンフレットを
ご希望の方にお送りしております。個別のご相談もお受
けしておりますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ:
広報・リレーションズ課
電話: 03-6457-4585

人事のお知らせ

●役職の変更

八木澤 克昌 常勤理事 → 常務理事 5月1日付

●退職

渡邊 珠人 地球市民事業課 国内緊急人道支援担当 7月31日付

●入職

五嶋 佑輝 地球市民事業課 海外緊急人道支援担当 7月4日付

羽賀 美樹 地球市民事業課 海外緊急人道支援 事業アシスタント 8月29日付

湯浅 真澄 事業サポート課 海外事業及び海外緊急人道支援アシスタント 9月5日付

●異動

竹本 舞 事業サポート課海外事業担当(ネパール)
→ 経理課 海外経理担当 兼 海外事業担当(ネパール)
8月1日付

芦田 雄太 地球市民事業課 海外緊急人道支援担当(BRC事務所赴任)
→ 地球市民事業課 海外緊急人道支援担当(ウクライナ事業担当)
8月1日付

谷島 緑 事業サポート課 課長補佐 海外事業担当(ラオス、カンボジア)
→ ラオス事務所 所長(東京事務所付) 9月1日付

玉利 清隆 ラオス事務所 所長 → 経理課 課長代行 9月1日付

●休職

鈴木 晶子 広報・リレーションズ課 課長 6月1日付

山室 仁子 事業サポート課 チーフ 事業支援窓口 8月8日付

眞屋 友希 アフガニスタン事務所 チーフ 事業担当 兼 コーディネーター
9月13日付

●昇格

萩原 宏子 ネパール事務所 所長代行
→ ネパール事務所 所長 5月1日付

平島 容子 広報・リレーションズ課 課長補佐
→ 広報・リレーションズ課 課長代行 5月1日付

古賀 智子 総務人事課 課長補佐 → 総務人事課 課長 6月1日付

テラワリ ケイ 地球市民事業課 チーフ・緊急人道支援担当
→ 地球市民事業課 課長補佐 10月1日付

シャンティ 2022年11月号(通巻316号) | 2022年11月1日発行

発行人: 若林恭英

発行所: 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
〒160-0015東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3階
TEL 03-5360-1233 FAX 03-5360-1220
WEB: www.sva.or.jp E-Mail: info@sva.or.jp

編集人: 山本英里、鈴木晶子

編集・制作: 株式会社文化工房

イラスト: きよはらえみこ

印刷: 株式会社サンエー印刷

当会へのご寄付は、所得税、住民税、および法人税、相続税の優遇措置が受けられます。
©Shanti Volunteer Association.
「シャンティ」は、FSC®森林認証紙にノンVOCインキ(石油系溶剤0%)で印刷しています。



川畑 嘉文(フォトジャーナリスト)

Yoshifumi KAWABATA

ニューヨークの雑誌社勤務時代に9.11を経験し、記者職を捨て写真
の道に進むことを決意。2002年、会社を退職しタリバン政権崩壊後
のアフガニスタンを訪れ取材を行った。2005年フリーランスのフォト
ジャーナリストとなり、世界中の難民キャンプや貧困地域、自然災害の
被災地で取材を行い、雑誌や新聞などに写真と原稿を寄稿している。



夕方になると湖畔に人
が集まり、思い思いの
時間を過ごします



上: 市中心部にあるナステレア大聖堂

中: ブーシキンが暮らした家

下: ママリガ。食べ方はさまざま

多く、観光で訪れるのもおすすめです。

そしてモルドバ人が誇る文化人といえば文豪
ブーシキン。作品が政治色を帯びているとされ、
1820年にキシナウに飛ばされました。彼の暮
らした家は博物館として一般公開されています。
モルドバはワインが有名ですが、同国を代表
する食べ物は何なのか。それはとうもろこし粉で
作ったマリガ。家庭料理として親しまれている
お粥のようなものです。

モルドバ プチ情報

2022年4月、ウクライナ難民の調査のため

にモルドバへ行かせていただきました。ただ、同
国の知識はゼロ、未知の国への渡航となりました。
そこで私が知った情報を少しお伝えします。

モルドバはワインが有名ですが、同国を代表

する食べ物は何なのか。それはとうもろこし粉で
作ったマリガ。家庭料理として親しまれている
お粥のようなものです。

そしてモルドバ人が誇る文化人といえば文豪
ブーシキン。作品が政治色を帯びているとされ、
1820年にキシナウに飛ばされました。彼の暮
らした家は博物館として一般公開されています。

モルドバの経済状況は厳しく決して豊かとは
言えません。それでも、卑屈になることなく私が
接した方々は非常に温厚で親切。おいしい食事も